



ちゃったわけです。

だからその人たちはケルト人。それで、途中アングロサクソンの人にガンガン攻められて、コーンウォールとかにいる人が、なんか土地が足りなくなっちゃってね、で、そこから船に乗って、海へ逃げたわけです。逃げたらノルマンディーに着いちゃった。あ、ノルマンディーじゃない、ブルターニュに着いちゃったわけ。で、そこに移住してきたわけです。

だからブルターニュのケルト人というのは、最初イギリスに追いやられていたケルト人がもう一回弾き飛ばされてフランスに戻ってきて、それで住んだんですよ。だから、そういうブルターニュの人たちにとってはね、自分たちの祖国っていうのがある意味イギリスの方が本土なんです。分かります？うん。だから「Grande Bretagne」っていう。そういうの、歴史をやると分かるわけです（笑）。

だから、例えば「アーサー王の伝説」とか聞いたことあるでしょう？ああいうのもね、…中世の物語って皆ケルトのなんだけど。アーサー王っていたかどうかちょっと詳しく知らないけれども、もともとはコーンウォールの王様だったらしいんですね。

あとね、「トリスタンとイゾー」って知ってる？「トリスタンとイゾルデ」。あ、これも知らない？ドイツの有名な叙事詩に出てくる。でもトリスタンとイゾーさんっていうのはケルト人なんですね。その人たちがコーンウォールとブルターニュを行ったりきたりする物語なんだよ。まあ読んでください。

こうやってると時間終わっちゃうから、先に行きませ（笑）。

## 第1パラグラフ 第1文（続き）

Sous la Révolution, Brest prend une nouvelle importance.

さあ、最初の文章ではですね、「ブレストは」— 一直訳しますね—「新たな重要性を取る」と書いてありますね。

ここは何で現在形で書いてあるの？過去のことに。

（生徒）「これから時間を…時間に沿って話を進めていくから。」

うーん（笑） そんな難しいこと言わなくても。

歴史的現在ってやつ。あの、要するに生き生きとさせるために、今自分がその場面に居合わせるかのように叙述するやり方なんです。一種の間接話法ですよ。

日本でも、太宰治さんがね、「走れメロス」って読んだことある？学校で読まれるよね。途中で「メロスは走る。走りに走る。」って確かそんなのがあった気がするけど。私たちの実感として分かるでしょう？ね。「そこへ父が現れる。」とか、そういうような表現と同じなんですね。

ですから、これ、歴史的現在っていうのをどうするかってちょっと大きな問題なんだけども、私は文学作品でない限りはですね、もう過去で統一しちゃっています。私は、個人的には。はい。で、フランス語の翻訳書などを見るとですね、特に文学とか、ちょっと文学者が訳された方っていうのはわりと歴



史的現在にこだわるんですね。わざと日本語でも現在にしたりする。そういうのは趣味ですよ。もうね、翻訳者の趣味です。だからあなたの好きなようにしてください。

「新たな重要性を帯びる」っていうのはどういうことなんだろう？考えてみると。

古い重要性っていうのがあったのか（笑）。

まあ日本語としてはですね、「新たな重要性を持つようになった」ぐらいでいいんじゃないですかね。で、あったわけですよ、古い重要性。

ということは、つまりこれ、いきなりこれ革命の時代から始まっているけど、ぼくの想像なんだけど、この文はこの前にブレストは例えばもっと古い時代からの歴史が書いてあって、途中から抜粋したんだと思うんですよ。ね。だからそれまでもブレストっていう町はいろいろな意味でいくつかの意味で重要な町だったんだけど、この時期になって、今までにはない意味での重要性が町に現れたというかね、あの、…重要な…なんか要素が加わったと、いう感じだと思うんですね。

それは、日本語は簡単なんですけれども、一応その辺も読んでください。

### 意味的コロケーション

さて、それから文法的には、いつもオオタさんに言っていますけれども、importance とその prendre ですね。

日本語では「重要性を取る」って言わないね。なんて言うかな？言うとしたら。さっき私ちょこつと言っちゃったけど、「重要性を帯びる」なんかは使えるんじゃないかな。

（生徒）「帯びる」

ね。

（生徒）「担う」

「担う」、あ、いいね。そうそうそう。

でね、このように日本語の場合は、「重要性」という名詞と、それから動詞の「取る」っていうのは合わないんだよね。意味は分からないことはないけど、そういう組み合わせで使う日本人はあまりいないという。

で、これはあの、既に一度話したと思うんですけれども「意味的コロケーション」と英語の学習者や英語の先生なんかは言う。つまり、ある名詞とある動詞の組み合わせ、ある形容詞とある動詞の組み合わせ。なんか癖があるわけですね。だから日本語で言っても英語で言えるかどうか分からない。

えー、ちょっと私はいつも英語で簡単な例を出すとき handsome って形容詞を出すんだけどね、私たちは日本語でハンサムっていうと、これは女の人には使えません。ね。あの「ハンサムな女の子」って、日本語で、日本語としてのハンサムでは使わないね。

ところが英語のハンサムっていうのはね、中年のあのかわいい女性…佐藤ゆかりさんみたいな（笑）、ちょっとキリっとした感じのね、40代過ぎの女性にはね handsome lady っていうんです、英語で。